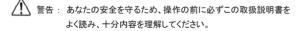
アネパル 超音波ホッチキス

QUPPA "キュッパ"

- 取扱説明書 -





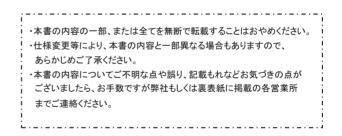
 警告: この取扱説明書は常に機械操作に便利な所定の場所に保管し、 必要な時にすぐに読めるようにしてください。

▲ 朝日産業株式会社

はじめに

このたびは当社製品をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。

- あなたの安全を守るため、操作前に必ずこの取扱説明書をよくお読み いただき、十分内容を理解してください。
- この取扱説明書をお読みになった後は、紛失・損傷の発生しない場所 に保管し、必要なときすぐに読めるようにしておいてください。
- あなたがこの製品を転売または譲渡する場合は、この取扱説明書を 新しい保有者にお渡しください。
- この取扱説明書に書かれていない使用方法、あるいは間違った使用 方法を行った結果において招いた人身事故および物的損傷に対しては 当社は一切の製造物責任法(PL法)上の責任を負いません。



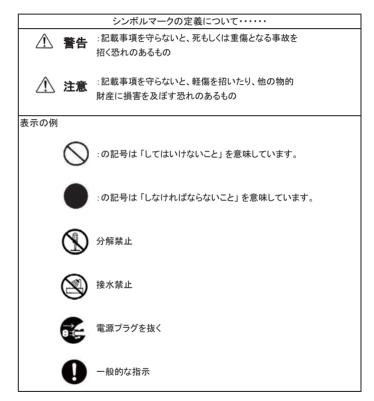
目次

1. 安全上のご注意(必ずお読み下さい)	P2
2. 仕様一覧表 ・ 各部の名称	P6
3. 空打ち防止機構 ・ ハンドピースの収納	P7
4. 操作方法	P8
5. 溶着金具の交換方法 (別売)	P9
6. 故障と思われる前に	P10
7. お手入れ	P11
8. アフターサービスについて	P12
9. 保証書	P13

1

1. 安全上のご注意(必ずお読みください)

「安全上のご注意」では、本機をご使用になる人や他の人々への危害、 財産への損害を未然に防止するために重要な注意事項を説明しています。



2

▲ 警告		
	水をかけないこと。また、水のかかる場所に置かないこと。	
Ś	●故障の原因となるほか、感電やショートの原因になります。	
	改造や分解はしない。	
(\mathbb{N})	●絶対に分解したり、修理・改造をしないでください。	
Y	火災・感電・けがの原因になります。	
\bigcirc	子どもだけで使用させたり、幼児の手の届くところで使用しない。	
\bigcirc	●感電・けがの原因になります。	
(開口部やすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。	
\bigcirc	●感電やショートの原因になります。	
	次のような環境では絶対に使用しないこと。	
(\land)	※直射日光が当たるなど高温となる場所	
U V	※チリやホコリ・腐食性ガスの発生する場所	
	※振動・衝撃の多い場所	
	※濡れた場所・湿気の多い場所	
	●これらを守らないと故障の原因となるほか、場合によっては	
	感電など重大な事故を招く恐れがあります。	
	ぬれた手で差込みプラグ、操作部を絶対にさわらない。	
S	また、水等をこぼさない。	
	●感電の恐れがあります。万一こぼしたときは、直ちに使用を中止	
ぬれ手	してください。	
使用禁止		

▲ 警告		
\bigcirc	本体及びハンドピースを倒したり、落としたり、強い衝撃を 与えない。 ●故障の原因になります。	
\bigcirc	コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、 重たいものをのせない。 ●コードが破損し、火災・感電の原因になります。	
0	差込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の 差込みプラグを持って引き抜く。 ●感電・ショート・発火の原因になります。	
B	使用時以外または、臭いや煙が出る等の異常があった場合は 直ちに電源スイッチを切り、差込みプラグをコンセントから抜く。 ●事故の原因になります。	
Ĩ.	溶着金具(チップ)の取り付け、取り外し、およびお手入れの際は、 電源スイッチを切り、差込みプラグをコンセントから抜く。 ●けがの原因になります。	
\bigcirc	コードだけを持って本体を移動しない。 ●故障や事故の原因になります。	
\bigcirc	コードや差込みプラグが傷んだり、破損している時は使用しない。 ●感電・ショート・発火の原因になります。	
\bigcirc	使用中はコードを抜かない。 ●差込みが不十分だったり、差込みが抜けても動作しません 誤動作の原因にもなります。	

	<u>∧</u> 警告		
\bigcirc	発振中や使用直後はホーンに触れない。 ●火傷など、けがの原因になります。		
\bigcirc	目的以外のものの溶着はしない。 ●物的財産への損害の原因になります。		
\bigcirc	 ハンドピースはカー杯握らない。 カー杯握ると溶着不良や故障の原因となります。 本機は、超音波振動の摩擦熱により溶着を行います。 熱溶着ではありませんので、軽く握るだけで溶着できます。 		

お願い

ハンドピースの空打ちはしなでください。

●溶着金具やホーンの消耗を早めます。

お手入れの際は、ペンジン、シンナー等で拭かないでください。 また、殺虫剤、整髪用・掃除用等のスプレーをかけないでください。

●樹脂や塗装部が変質したり、破損する恐れがあります。

2. 仕様一覧表 ^{本体}	
発振周波数	57kHz
最大出力	20W
最 大 消 費 電 力	40VA
電源	100V~240V AC50 / 60Hz
外形寸法	発振器(本体)W179 x D183 x H66
(単位 : mm)	(突起部含まず)
	ハンドピース W 36 x D 125 x H 54
	(開口部開いた状態)
重量	発振器(本体)約1kg
	ハンドピース 約200g(出力コード含む)
出力コード	50cm (カールコード)

ACアダプタ

入 7	ካ	100V~240V AC50 / 60Hz
出力	<u></u> ታ	DC15V 3.3A
外形寸法	Ł(単位 : mm)	W 62 × D 97 × H 33(突起部含まず)
重量	Ĺ	約350g
ケーブル長 AC側 1.8m / DC側 1.5m		

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。 各部の名称



3. 空打ち防止機構

1. QUPPA(キュッパ)は空打ち防止機構がついています。 ホーンと溶着金具が接した時(空打ち時)、溶着の動作を止めます。

空打ちを防止することにより、溶着金具の寿命を延ばします。

ハンドピースの収納

- 1. 使用されない際は、ハンドピースホルダーに収納してください。
- 2. ハンドピースケース内部にマグネット、本体ケース内部には鉄板が組み込ま れていますので、本体の上にハンドピースを固定することが出来ます。
- 3. 作業台、シンクなど磁石がつく場所にも、水平であればハンドピースを固定 することが出来ます。
- ご使用前に持ち上げる際は、ハンドピースの先端を掴まないようにしてください。ハンドピースケース破損の原因につながります。 必ず、ケースの中心部よりも手前側を掴むようにしてください。
- ハンドピースを落下させないようにご注意ください。
- 必ず電源スイッチを切ってから収納してください。

4. 操作方法

1. ACアダプタのプラグをコンセントに差し込み、電源ジャックを本体に差し込みます。

● ACアダプタのLEDが点灯することを確認してください。

2. 本体の電源スイッチを入れます。

● スイッチ横の電源LEDが点灯することを確認してください。

3. 発振器のタイマーつまみを中央にセットしてください。

● 溶着する物(厚み、材質)によって、タイマーを調整してください。

4. ハンドピースを手に持ち、パッケージの溶着部をハンドピースのロ元のホーンと 接着金具の間に入れてください。

● 接着部は多少斜めにセットしても問題はありません。

5. ハンドピースを軽く握ってください。(カー杯握る必要はありません。) 握る時はハンドピースの上から真っ直ぐ力を加えるようにしてください。 本体の発振LEDが緑色に点灯します。LEDが消えたら溶着完了です。押さえを 緩めてください。

ご使用上の注意

●パッケージの種類、厚みや材質によって溶着能力に差があります。

5. 溶着金具の交換方法 (別売)

- 1. 電源プラグをを抜いてください。電源が切れていることを確認します。
- ハンドピースの溶着金具取り付け部裏面のビスをプラスドライバーではずし、 溶着金具を取り外します。
- 3. 交換する溶着金具を、ネジ穴が重なるようにハンドピースに合わせ、プラス ドライバーでビスを締め付けます。
- 第着金具は、まっすぐ取り付けてください。 また、取り付け後にハンドピースを握って、ホーンと接着金具の噛み合わせが 正常にできているか確認してください。
- ビスがしっかり締まっていることを確認してください。 ビスが緩んでいると溶着金具の取り付け状態がずれ、ホーンと溶着金具の 噛み合わせができなくなり、正常に溶着できなくなる恐れがあります。

6. 故障と思われる前に

●万一、本機の調子が悪いとき、修理を依頼される前にもう一度、次の点をお確かめ ください。

症状	点検項目	対 策
電源が入らない。	●電源プラグが接続されているか。	 電源プラグ、アダプタを接続
(電源ランプが点灯しない)	●本体とアダプタ、アダプタと電源	してください。
	コードが接続されているか。	
	●アダプタのLEDが点灯しているか。	
ハンドピースを握っても	●電源スイッチが入っているか。	スイッチをいれてください。
発振しない。	●空打ちしていないか。	溶着物を挟んで握ってくだ
		さい。
	●出力コードが断線していないか。	修理を依頼してください。
溶着できない。	●溶着タイマーの設定時間が短く	溶着タイマーの設定時間
	ないか。	を長くしてください。
	●溶着タイマーが終了する前に	発振LEDランプが消えるま
	ハンドピースの握りを放していないか	でハンドピースを握り続け
		てください。
	●溶着金具が破損していないか。	溶着金具を交換してくだ
		さい。
	●先端ホーンが振動しているか。	修理を依頼してください。
	●タイマーつまみを最大にして	いったん電源を切り、温度
	休みなく動作させていないか。	の冷めるのを待ってから
ハンドピースが発熱した。		ご使用ください。
	●タイマー制御が効かなくなって	ご使用をただちにやめ、
	ないか。	修理を依頼してください。

7. お手入れ

ホーン先端や溶着金具は、こまめに清掃を行ってください。



清掃を行う前に、必ず電源が切れていることを確認してください。

ハンドピース先端に異物が付着していると、発振不良になる場合が あり、溶着不良の原因なります。

清掃方法

アルコールを浸した布や綿棒・ブラシなどでホーン部(ハンドピース先 端の金属部)や溶着金具などを拭いてください。



▲ 本体およびハンドピースの丸洗いは、絶対にしないで下さい。

8. アフターサービスにつて

◆保証書について

保証期間は、お買い上げの日から半年間です。保証書には必ず、「お買い上 げ日、販売店名、製造番号」などの記入があることをお確かめの上、内容をよく お読みいただき、大切に保管してください。 保証書に必要事項が記載されていない場合、たとえ保証期間中でも有償修理

になる場合がありますので、ご注意ください。

また、保証期間内であっても使用上における破損・故障などについては、 たとえ保証期間中でも有償修理になる場合がありますので、予めご了承くだ さい。

◆ 修理を依頼されるとき

本書の「故障と思われるまえに」にしたがって調べていただき、直らない場合 は次のようにしてください。

·保証期間中

製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご依頼ください。 *保証期間中でも有償修理になる場合がありますので、保証書をよくお読み ください。

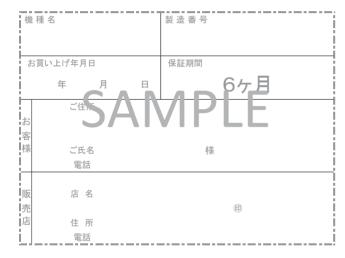
・保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店にご依頼ください。修理可能な製品については、ご希望 により有償で修理致します。 *修理を依頼される場合、故障内容と故障箇所をできるだけ詳しくお申し出く ださい。

保証書

この保証書は、販売時点で販売店様が所定事項を記入されてはじめて効力を発します 必ず所定事項をご記入のうえ、お客様にお渡しくださいますよう、お願いいたします。

保証書は、顧客名簿やアフターサービスの資料として、大切に保管し、ご活用ください。



朝日産業株式会社

〒456-0051 愛知県名古屋市熱田区四番一丁目11-22 TEL (052) 671- 5191 FAX (052) 671- 5196

▲朝日産業株式会社

名古屋市熱田区四番ー丁目11番22号 本 社 TEL (052) 671-5191 FAX (052) 671-5196 修理・サービスセンター 名古屋市熱田区一番三丁目3-1